

## 《11月の予定》

- 1日(土) 作新学院大学入試
- 2日(日) 作新学院大学女子短期大学部入試
- 5日(水) 第3回校内模試・ビジネスマナー講習会(3年就職)
- 7日(金) 全校集会、生徒会選挙・修学旅行事前指導(5~6h・2年)
- 9日(日) 珠算・電卓実務検定
- 13日(木) 修学旅行事前指導(沖縄班1h、フランス班1~4h)
- 14日(金) 修学旅行(フランス班)出発(～19日)  
修学旅行事前指導(沖縄班1~4h)
- 16日(日) 修学旅行(沖縄班)出発(～19日)
- 17日(月) スポーツ大会
- 18日(火) 音楽鑑賞・授業
- 19日(水) 授業・各学科別行事 修学旅行団帰校
- 20日(木) 代休(2年) キャリアガイダンス・授業(1年)  
消費者教育・各学科別行事・授業(3年)
- 23日(日) 全商ビジネス文書実務検定
- 27日(木) 計算技術検定(電気・電子システム科)



D1-1 富田 菜佑さん

## 『国家試験全員合格』への挑戦 自動車整備士養成科



10月5日(日)自動車整備士養成科にとって最大の行事である自動車整備技能登録試験が実施され、自動車整備士養成科の3年生60名(在籍全員)が受験しました。事実上この試験が生徒たちにとって、国家資格である自動車整備士を取得できるかどうかの重要な試験となるため、緊張もひと際高まります。それは、入学してからこの日まで、自動車整備士養成科の生徒と教職員が一丸となって頑張ってきたからです。

本学科は、国土交通省より認可された自動車整備士養成施設となっているため、座学300時間以上、実習600時間以上を必ず受講しなければならない規定があり、この条件が満たされないと受験資格が得られません。ですから生徒たちはなるべく欠席や遅刻をしないようにと、これまで取り組んできたのです。

自動車整備士養成科の生徒たちは、自動車整備士の試験が3年生で実施されるので、それまでは危険物取扱者や溶接の技能講習など、全員が入学直後からいくつもの資格取得に向けて挑戦します。生徒たちの中には、「正直、中学校の時はこんなに勉強してなかったなあ」などと口々に言いますが、ひとつまたひとつと資格試験に合格するうちに、いつからか自分でどんどん挑戦するようになっていきます。どんな生徒たちも、みんな「やればできる」のです。自動車整備士養成科では、この「やればできる」を形にするために、生徒と先生が一丸となり頑張っているのです。

今年度の試験結果は60名中53名が見事合格(合格率88.3%)できました。また、就職においては、各メーカーや数々の整備工場に整備士としての内定をいただいております。これも、生徒たちがお互いに切磋琢磨し、刺激あって良い方向へと成長してくれたものと考えております。

しかしながら、生徒たちの本当の活躍は社会に出てからであると考えております。仕事ではつらいことや大変なことも少なくありません。そこで根底にある「自動車が好き」というエネルギーがいくつもの壁を乗り越える原動力となり、また、多くの人々とのつながりをつくり出し、今後の成長の要素となると考えます。

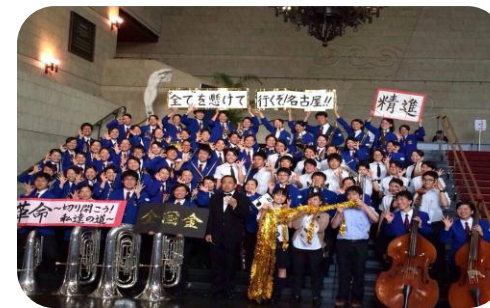
今後も自動車整備士養成科は、将来のスペシャリストとなる人材を数多く輩出できるよう頑張っていきたいと思っております。

自動車整備士養成科長 木村 健二

## おめでとうございます!

9月28日に実施された全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級ビジネス情報部門(2学年終了レベル)で2年生2名が合格しました。

## 定期演奏会を終えて



10月13日、私の高校3年間の部活動生活の集大成とも言うべき「定期演奏会」が開催されました。台風が近づき風雨が強まる中にもかかわらず、会場は満員のお客様で膨れ上がりました。一曲一曲心を込め、それぞれの思い入れを曲にのせて演奏しました。そしていよいよ最後の曲の演奏、3年間の様々な出来事が走馬灯のように脳裏をよぎり、涙がこみ上げてきました。

1年生の時は慣れない環境に戸惑い、2年生の時は上手く弾けない自分に苦しみ、最高学年では下級生をリード出来ない自分に悩みながらもここまで到達出来たのは、仲間と家族と先生の支えがあったからです。

吹奏楽部で過ごした3年間、私の一生の宝物です。  
F3-4 箱田 好美

## 平成26年度読書感想文高等学校 校内コンクール入賞者

夏季休暇中の課題で全員出品になっている毎年恒例の読書感想文校内コンクール表彰が10月10日の全校集会の後、聴蛙館で行われました。表彰を受けたのは、英進部17作品、総合進学部27作品、そして情報科学部が7作品でした。情報科学部の生徒氏名と作品タイトルを掲載いたします。

- 佳作 D3-2 成沢 美香「思い出のとき修理しますを読んで」
- // F3-3 三輪 桃子「夢をかなえるソウを読んで」
- // D2-1 鈴木なぎさ「手紙を読んで」
- // // 谷中 絹代「超訳 ニーチェの言葉」を読んで
- // D1-1 仲田 紗花「一番の幸せとは」
- // L1-1 小澤 彩音「新学期」
- // F1-2 村上 寛実「改めて思った」

## 芸術祭賞を受賞

第68回栃木県芸術祭美術展 彫刻部門・工芸部門に美術デザイン科3年生が出品しました。その結果D3-1 萩原穂乃香さんが彫刻部門で最高賞の芸術祭賞を受賞しました。県芸術祭は、県内各地から一般者・大学生が応募する県内最大の公募展です。高校生が受賞するのは至極稀なことであり、高く評価されました。

作品「思考」は、銅板と銅線によってらせん状に構成され、うごめくような形状の大作、全体の動きやバランスをダイナミックに展開し伸び伸びとした作品に仕上がっています。思春期の悩みや考えが絡まりあいながら時空を行き来しています。

美術デザイン科長 中島 実



萩原穂乃香さんの作品「思考」

## 情報科学部での高校生活は “生き方探しの3年間”

□編集係から

このところの生徒たちの活躍ぶりに「収穫の秋真っ盛り」を感じずにはいられません。残念ながら紙面の都合上、掲載出来ない好成绩・好結果が山ほどあることを付け加えさせていただきます。